令和6年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【数学】松江第二中学校

【平均正答率の差】

松江第二中学校

江戸川区 (区立)

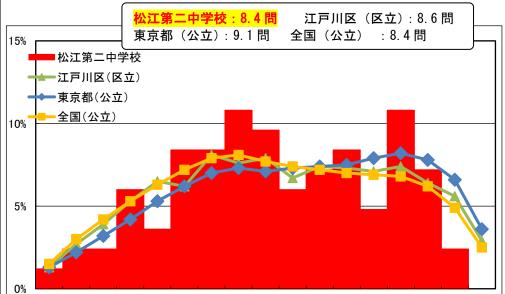
東京都 (公立)

全国 (公立)

都との差

正答数分布

平均正答数



<四分位における割合(都全体の四分位による)>

上位 下位

0問 1問 2問 3問 4問 5問 6問 7問 8問 9問 10問 11問 12問 13問 14問 15問 16問

	_ _	•		<i>y</i> —
数学	A層 13~16 問	B層 9~12問	C層 6~8問	D層 0~5問
			1.3	11.4
松江第二中学校	20. 4	26. 4	28. 8	24. 0
江戸川区 (区立)	22. 3	28. 5	23. 6	25. 6
東京都(公立)	26. 2	30. 1	21. 4	22. 3
全国 (公立)	20. 4	28. 5	23. 7	27. 4
	松江第二中学校 江戸川区(区立) 東京都(公立)	数子13~16 問松江第二中学校20.4江戸川区 (区立)22.3東京都 (公立)26.2	数字 13~16 問 9~12 問 松江第二中学校 20.4 26.4 江戸川区(区立) 22.3 28.5 東京都(公立) 26.2 30.1	数字 13~16 問 9~12 問 6~8 問 松江第二中学校 20.4 26.4 28.8 江戸川区(区立) 22.3 28.5 23.6 東京都(公立) 26.2 30.1 21.4

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、生徒数の 1/4、2/4、3/4 にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって生徒をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の生徒の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。

「領域別」の結果

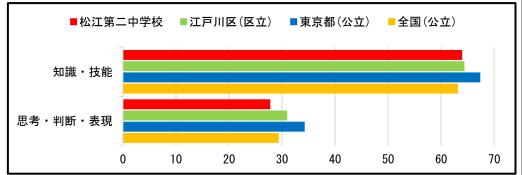
53%

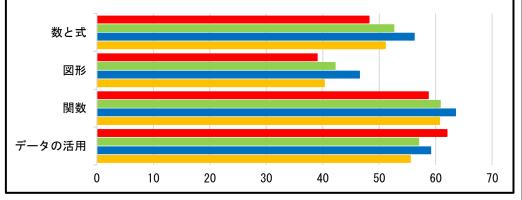
54%

57%

52.5%

-4 ポイン





【分析結果と授業改善に向けて】

領域別にみると、特に「数と式」・「図形」が区や都に比べて低くなっている。

特に C 層・D 層に対する指導について、「数と式」については、授業内での小テスト実施や計算コンテストなどを継続して行い、基礎計算力の定着を粘り強く指導する。特に「できた」、「わかった」という成就感、達成感がもてるような授業づくりを目指す。

「図形」については、模型やICTを利用し、数学的活動を通して、楽しく学びながら図形の性質を学べるように授業改善する。